

令和4年9月28日
株式会社 但馬銀行

「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」に基づく 取組方針および取組状況の公表について

株式会社但馬銀行は、お客さまの資産運用・資産形成に関する業務において、お客さま本位の取組みを実践するため、金融庁の「顧客本位の業務運営に関する原則」に基づき、「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」（以下「基本方針」といいます。）を制定のうえ、基本方針に基づく取組方針および取組状況を定期的に公表しております。

今般、当行の基本方針に基づく取組方針および取組状況を公表いたしましたのでお知らせいたします。

今後につきましても、基本方針に則りお客さまに満足いただける商品・サービスの提供に努めてまいります。

以 上

「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」に基づく 取組方針および取組状況の公表について

令和4年9月

但馬銀行
TAJIMA BANK

はじめに

株式会社但馬銀行は、お客さまの資産運用・資産形成に関する業務において、お客さま本位の取組みを実践するため、金融庁の「顧客本位の業務運営に関する原則」(以下「金融庁の原則」といいます。)に基づき、「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」(以下「基本方針」といいます。)を制定のうえ、基本方針に基づく取組方針および取組状況を定期的に公表しております。

今般、当行の基本方針に基づく取組方針および取組状況を公表いたしましたのでお知らせいたします。

今後につきましても、基本方針に則りお客さまに満足いただける商品・サービスの提供に努めてまいります。

【当行の取組方針と金融庁の原則との対応関係】

「顧客本位の業務運営にかかる原則」に基づく当行の取組方針	金融庁の原則
1. お客さまの最善の利益の追求	原則2 顧客の最善の利益の追求
2. 利益相反の適切な管理	原則3 利益相反の適切な管理
3. 手数料等の明確化、重要な情報の分かりやすい提供	原則4 手数料等の明確化 原則5 重要な情報の分かりやすい提供
4. お客さまにふさわしい金融商品・サービスの提供	原則6 顧客にふさわしいサービスの提供
5. 従業員に対する適切な動機づけの枠組み等	原則7 従業員に対する適切な動機づけの枠組み等

基本方針および取組方針

【基本方針】

1. 商品ラインナップの充実
2. お客様の立場に立った情報提供やコンサルティングの実践
3. お客様本位の態勢整備

【取組方針】

1. お客様の最善の利益の追求

お客様の安定的な資産形成の実現に向けて、お客様のニーズやライフプランに応じた金融商品・サービスの提供に努め、長期・積立・分散投資の提案等、お客様本位のコンサルティングを実践することにより、お客様の最善の利益を追求してまいります。

2. 利益相反の適切な管理

お客様の利益を不当に害すること、例えばお客様の意向に沿わない手数料の高い商品・サービスを優先して提案することのないよう、お客様との利益が相反する可能性を正確に把握・管理し、適切に業務を遂行してまいります。

3. 手数料等の明確化、重要な情報の分かりやすい提供

- ・お客様の負担する手数料等の費用が、どのようなサービスに対する対価であるかを含め、各種手数料の透明性の向上を図るとともに、分かりやすい手数料体系の情報開示に努めてまいります。
- ・お客様への商品提案の際には、多様な商品を比較することが容易になるように配慮した「重要情報シート」等分かりやすい資料を用いて、比較可能な複数の商品を提案するなど、商品特性・リスク特性・手数料等投資判断に影響を及ぼす重要な情報について、分かりやすく丁寧な説明に努めてまいります。
- ・複数の金融商品をパッケージにした商品(外貨建一時払い保険等)の勧誘・提案にあたっては、運用対象として比較可能な他の金融商品を含めて提案し、お客様にとって最も有効な運用方法を判断いただけるよう、情報提供に努めてまいります。

基本方針および取組方針

【取組方針】

4. お客様にふさわしい金融商品・サービスの提供

- ・お客様の金融知識、取引経験、財産の状況、投資目的等をしっかりと伺いたうえで、お客様の属性やニーズに応じた最適な金融商品・サービスの提供に努めてまいります。
- ・お客様にふさわしい金融商品・サービスを提供する観点から、想定されるニーズ、商品の分かりやすさ、手数料水準、リスク・リターン等を踏まえて事前検証を十分行ったうえ、定期的に投資信託や生命保険の新商品を導入するとともに、既存商品の見直しを行い、商品ラインナップの整備に取り組んでまいります。
なお、商品性が複雑で、中長期的な資産形成に適さない商品は取扱わない方針としており、仕組債は取扱いしておりません。
- ・商品販売後も、安心して取引していただけるよう、お客様のニーズや市場環境の変化に応じて、お客様の運用状況や市場環境等の情報提供を適時・的確に行い、お客様の投資判断のサポートに努めてまいります。特に、ご高齢のお客様や評価損を抱えているお客様に対しては、よりきめ細やかな情報提供に努めてまいります。

5. 従業員に対する適切な動機づけの枠組み等

- ・定期的な研修等を通じて、お客様本位の業務運営を実践するよう行内に浸透させるとともに、高度な専門性と倫理観を持ち、誠実かつ公正に業務遂行が行える人材の育成に努めてまいります。
- ・お客様の安定的な資産形成に資するため、お客様本位のコンサルティングに必要な知識・スキルを習得できるよう、職員に対する教育・研修体制の充実に努めるとともに、公的資格取得を奨励するなどコンサルティング能力を有する専門性の高い人材の育成に努めてまいります。
- ・お客様のニーズ・利益を踏まえたお客様本位の営業活動が行えるよう、特定の運用商品の販売に偏らない評価体系を導入するなど、業績評価体系の整備に努めてまいります。

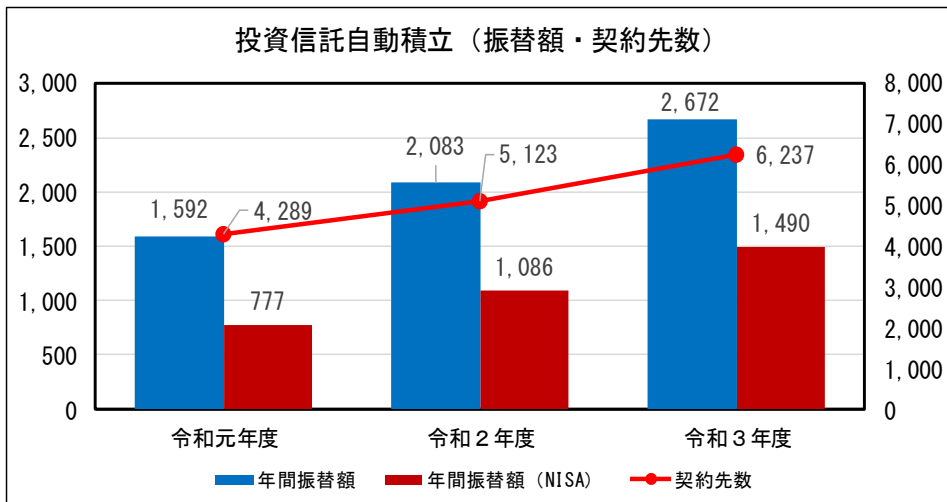
取組方針 1. お客様の最善の利益の追求

① 投資信託自動積立(振替額・契約先数)、投資信託残高・投資信託保有顧客数

お客様の安定的な資産形成に有効な投資信託自動積立やつみたてNISA等の活用をご提案しており、振替額、契約先数、投資信託残高は着実に増加しています。今後もこの取り組みを継続して推進し、より多くのお客様と取引していただけるよう、努めてまいります。

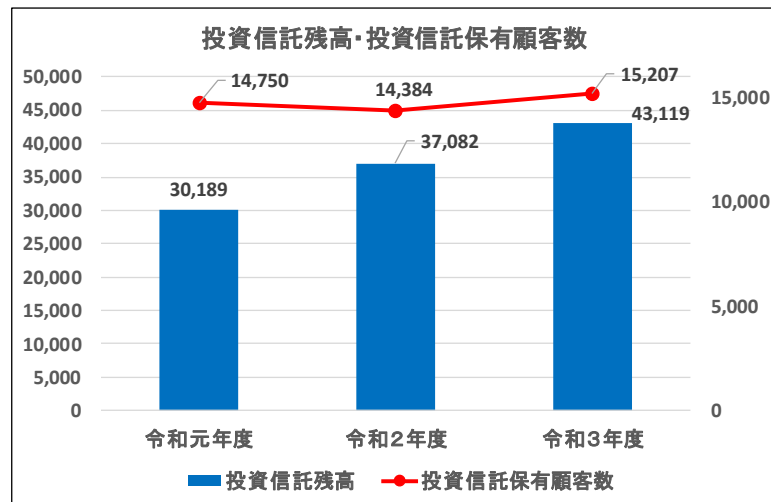
【投資信託自動積立(振替額・契約先数)】

(単位:百万円、人)



【投資信託残高・投資信託保有顧客数】

(単位:百万円、人)



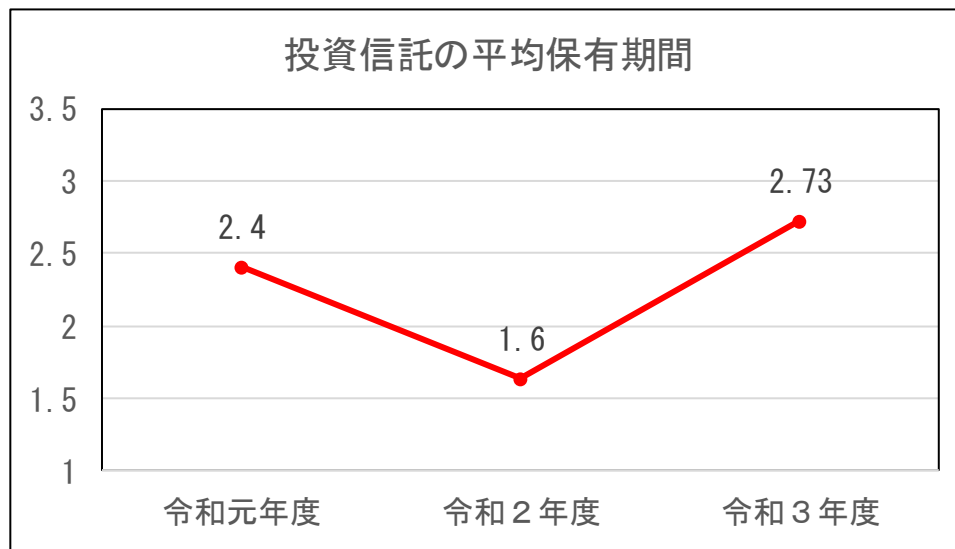
取組方針 1. お客様の最善の利益の追求

② 投資信託の平均保有期間

中長期的視野に立った資産形成を推進しており、令和3年度においては投資信託の平均保有期間は長期化傾向となりました。

【投資信託の平均保有期間】

(単位:年)



※金融庁が公表した以下の算式で算出しています。
平均保有期間 = (前年度末残高 + 年度末残高) ÷ 2
÷ (年間解約額 + 年間償還額)

取組方針 1. お客様の最善の利益の追求

【指標(投資信託の共通KPI)】

投資信託の共通KPIの内容

1. 投資信託の運用損益別顧客比率

投資信託を保有しているお客さまについて、基準日時点の保有投資信託にかかる購入時以降の累積の運用損益(手数料控除後)を算出し、運用損益別に顧客比率を示した指標です。

個々のお客さまが保有している投資信託について、購入時以降どのくらいのリターンが生じているかを見ることができます。

2. 投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン

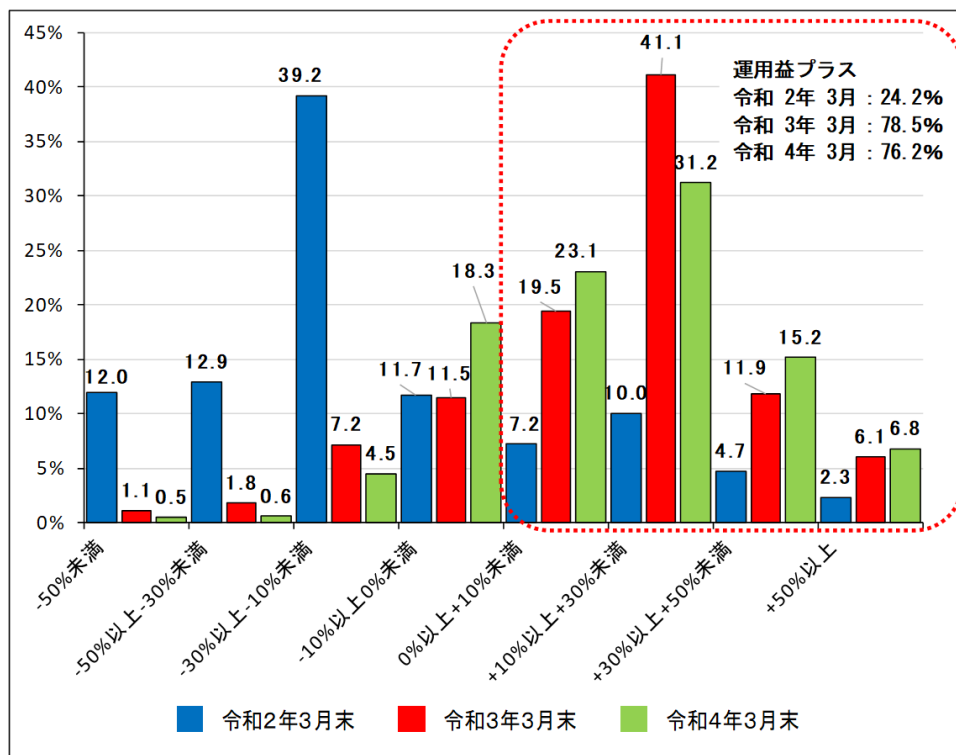
設定後5年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄について、銘柄毎および預り残高加重平均のコストとリターンの関係、リスクとリターンの関係を示した指標です。

中長期的に、商品のリスク・コストに比べて、どのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを見ることができます。

取組方針 1. お客様の最善の利益の追求

③ 投資信託の運用損益別顧客比率(共通KPI)

- ・令和4年3月末基準で運用損益がプラスとなったお客様の比率は、76.2%となりました。
- ・引き続き、アフターフォロー等を通じて適時適切な情報提供を行い、お客様の中長期的な資産形成に資するコンサルティングを実践してまいります。

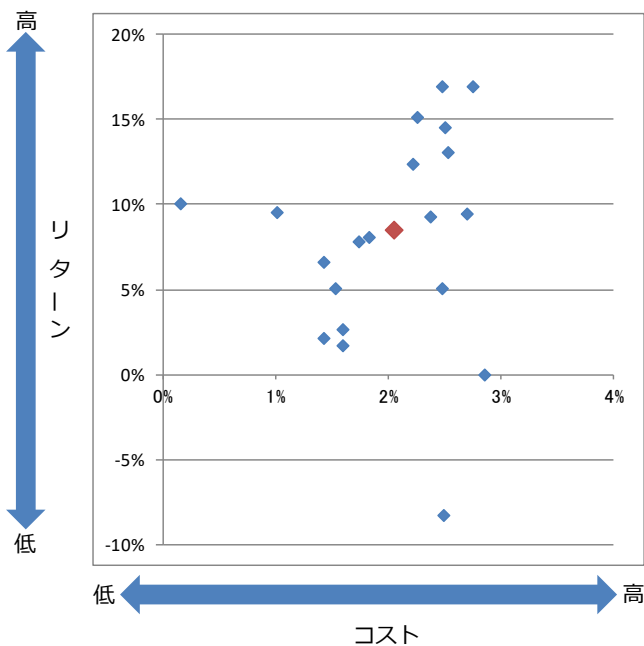


取組方針 1. お客様の最善の利益の追求

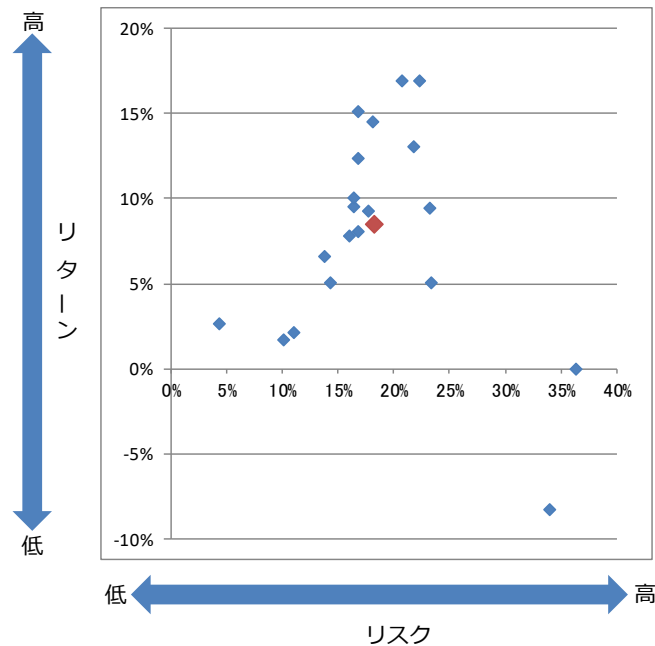
④ 投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン(共通KPI)

令和4年3月末基準の残高上位20銘柄の平均コストは2.05%、平均リスク18.25%に対し、平均リターンは8.53%となりました。

【令和4年3月末基準】



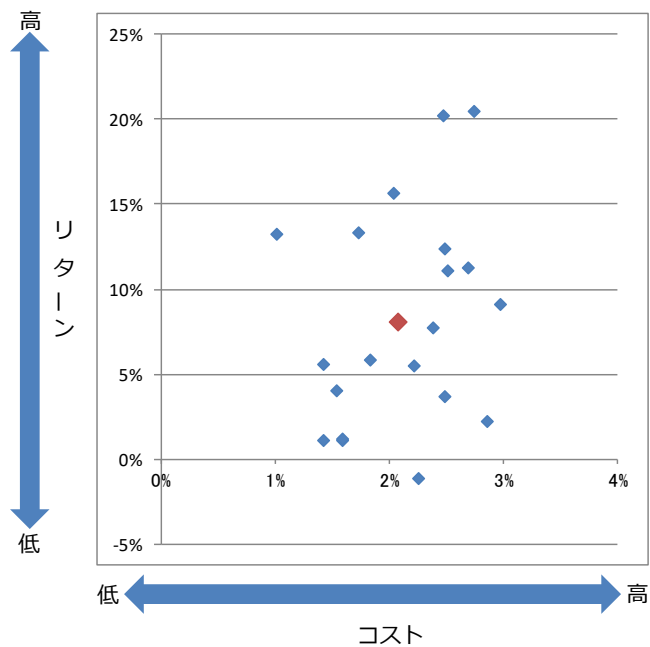
残高加重平均値	コスト	リターン
	2.05	8.53



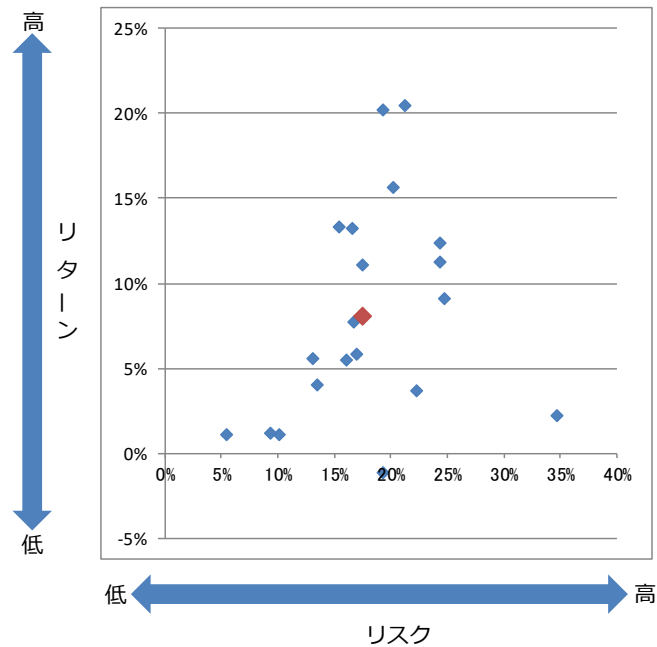
残高加重平均値	リスク	リターン
	18.25	8.53

取組方針 1. お客様の最善の利益の追求

【令和3年3月末基準】



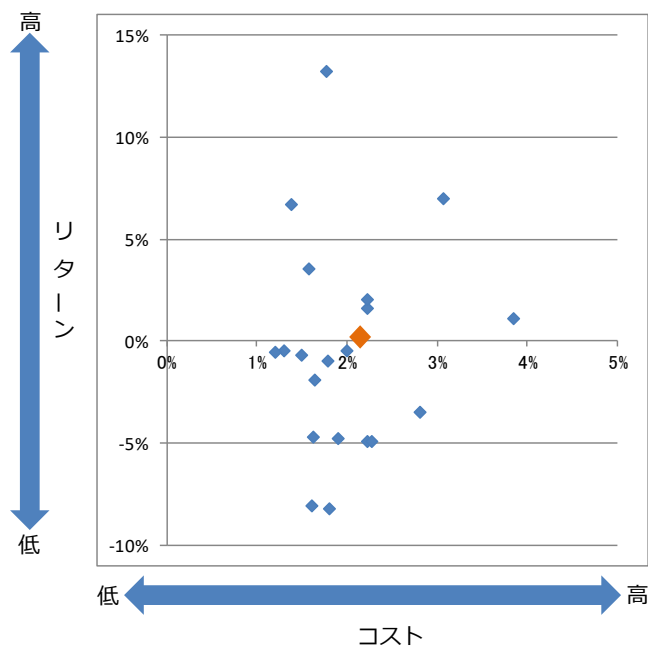
残高加重平均値	コスト	リターン
	2.08	8.05



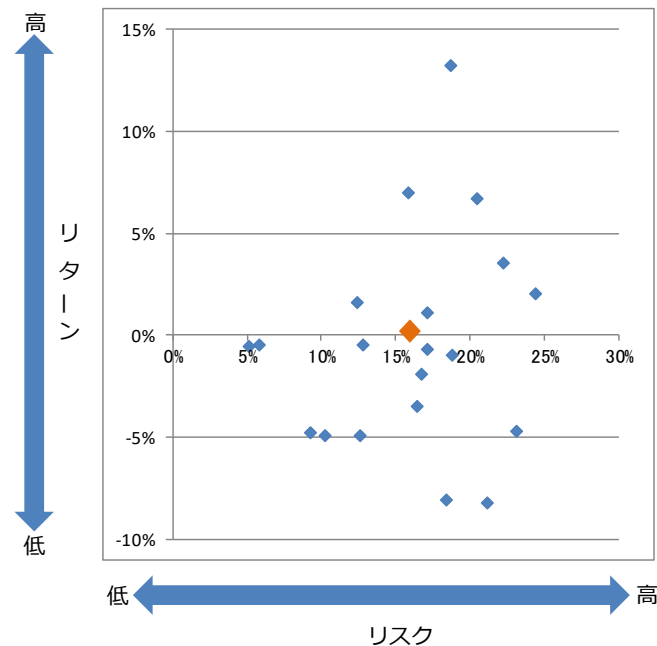
残高加重平均値	リスク	リターン
	17.54	8.05

取組方針 1. お客様の最善の利益の追求

【令和2年3月末基準】



残高加重平均値	コスト	リターン
	2.19	0.01



残高加重平均値	リスク	リターン
	16.29	0.01

※金融庁が公表した以下の基準に基づき算出しています。

コスト : 当行販売手数料率上限の1/5と信託報酬率の合計値

リスク : 過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)

リターン: 過去5年間のトータルリターン(年率換算)

取組方針 1. お客様の最善の利益の追求

(参考) 投資信託の預り残高上位20銘柄(共通KPI)

【令和4年3月末基準】

(単位: %)

No	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型)Bコース(為替ヘッジなし)	2.22	16.80	12.36
2	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)(ラッキー・カントリー)	2.49	23.38	5.02
3	たんぎん世界好配当株式ファンド(毎月分配型)(ワールド・ドリーム)	1.84	16.79	8.09
4	ひふみプラス	1.74	16.07	7.83
5	明治安田J-REIT戦略ファンド(毎月分配型)(リート王)	1.43	13.81	6.57
6	明治安田米国中小型成長株式ファンド	2.75	22.33	16.91
7	インデックスファンド225	1.01	16.44	9.51
8	明治安田外国債券オープン(毎月分配型)(夢実現)	1.60	4.30	2.62
9	JPMグローバル医療関連株式ファンド	2.51	18.17	14.55
10	ロボット・テクノロジー関連株ファンド-ロボテック-	2.48	20.71	16.96
11	ニッセイJリートオープン(毎月分配型)	1.54	14.27	5.06
12	アムンディ・ロシア東欧株ファンド	2.49	33.93	-8.33
13	三菱UFJ豪ドル債券インカムオープン(夢実月)	1.60	10.11	1.64
14	HSBCブラジルオープン	2.86	36.31	-0.02
15	新成長株ファンド(グローイング・カバーズ)	2.53	21.81	13.06
16	短期豪ドル債オープン(毎月分配型)	1.43	11.08	2.13
17	次世代米国代表株ファンド(メジャー・リーダー)	2.26	16.83	15.14
18	ハリス世界株ファンド(毎月決算型)	2.70	23.27	9.46
19	アジア好利回りリート・ファンド	2.38	17.74	9.25
20	iFree 日経225インデックス	0.15	16.44	10.00

取組方針 1. お客様の最善の利益の追求

【令和3年3月末基準】

(単位:%)

No	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)(ラッキー・カントリー)	2.49	22.25	3.63
2	ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型)Bコース(為替ヘッジなし)	2.22	16.06	5.50
3	たんぎん世界好配当株式ファンド(毎月分配型)(ワールド・ドリーム)	1.84	17.01	5.85
4	明治安田J-REIT戦略ファンド(毎月分配型)(リート王)	1.43	13.11	5.53
5	ひふみプラス	1.74	15.38	13.32
6	明治安田米国中小型成長株式ファンド	2.75	21.22	20.46
7	アムンディ・ロシア東欧株ファンド	2.49	24.40	12.34
8	明治安田外国債券オープン(毎月分配型)(夢実現(毎月分配型))	1.60	5.43	1.11
9	JPMグローバル医療関連株式ファンド	2.51	17.46	11.07
10	インデックスファンド225	1.01	16.58	13.25
11	ニッセイJリートオープン(毎月分配型)	1.54	13.47	4.03
12	三菱UFJ豪ドル債券インカムオープン(夢実月)	1.60	9.34	1.14
13	女性活躍応援ファンド(椿)	2.04	20.20	15.60
14	ロボット・テクノロジー関連株ファンドーロボテックー	2.48	19.38	20.22
15	短期豪ドル債オープン(毎月分配型)	1.43	10.18	1.07
16	ハリス世界株ファンド(毎月決算型)	2.70	24.38	11.25
17	アジア好利回りリート・ファンド	2.38	16.78	7.69
18	HSBCブラジルオープン	2.86	34.74	2.22
19	HSBCインドオープン	2.97	24.77	9.12
20	ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	2.26	19.38	-1.18

取組方針 1. お客様の最善の利益の追求

【令和2年3月末基準】

(単位: %)

No	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	ひふみプラス	3.06	15.86	6.98
2	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)(ラッキー・カンTRY)	1.81	21.19	-8.20
3	たんぎん世界好配当株式ファンド(毎月分配型)(ワールド・ドリーム)	2.80	16.48	-3.46
4	ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型)Bコース(為替ヘッジなし)	1.64	16.77	-1.93
5	明治安田J-REIT戦略ファンド(毎月分配型)(リート王)	2.22	12.38	1.57
6	三菱UFJ豪ドル債券インカムオープン(夢実月)	1.90	9.26	-4.77
7	アムンディ・ロシア東欧株ファンド	2.23	24.37	2.01
8	インデックスファンド225	3.85	17.09	1.13
9	JPMグローバル医療関連株式ファンド	1.78	18.82	-0.98
10	ニッセイJリートオープン(毎月分配型)	2.00	12.81	-0.45
11	新成長株ファンド(グローイング・カバーズ)	1.76	18.75	13.20
12	明治安田外国債券オープン(毎月分配型)(夢実現(毎月分配型))	1.30	5.88	-0.46
13	明治安田米国中小型成長株式ファンド	1.58	22.25	3.57
14	女性活躍応援ファンド(椿)	1.38	20.49	6.68
15	ハリス世界株ファンド(毎月決算型)	1.62	23.13	-4.70
16	短期豪ドル債オープン(毎月分配型)	2.22	10.27	-4.96
17	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	1.20	5.19	-0.56
18	アジア好利回りリート・ファンド	1.50	17.10	-0.67
19	高金利国際機関債ファンド(毎月決算型)	2.27	12.65	-4.91
20	ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	1.61	18.40	-8.10

取組方針 1. お客様の最善の利益の追求

【指標(外貨建保険の共通KPI)】

外貨建保険の共通KPIの内容

1. 外貨建保険の運用評価別顧客比率

外貨建保険を保有しているお客さまについて、基準日時点の保有外貨建保険にかかる購入時以降のリターンを算出し、運用評価別に顧客比率を示した指標です。

個々のお客さまが保有している外貨建保険について、購入時以降どのくらいのリターンが生じているかを見ることができます。

2. 外貨建保険の預り残高上位20銘柄のコスト・リターン

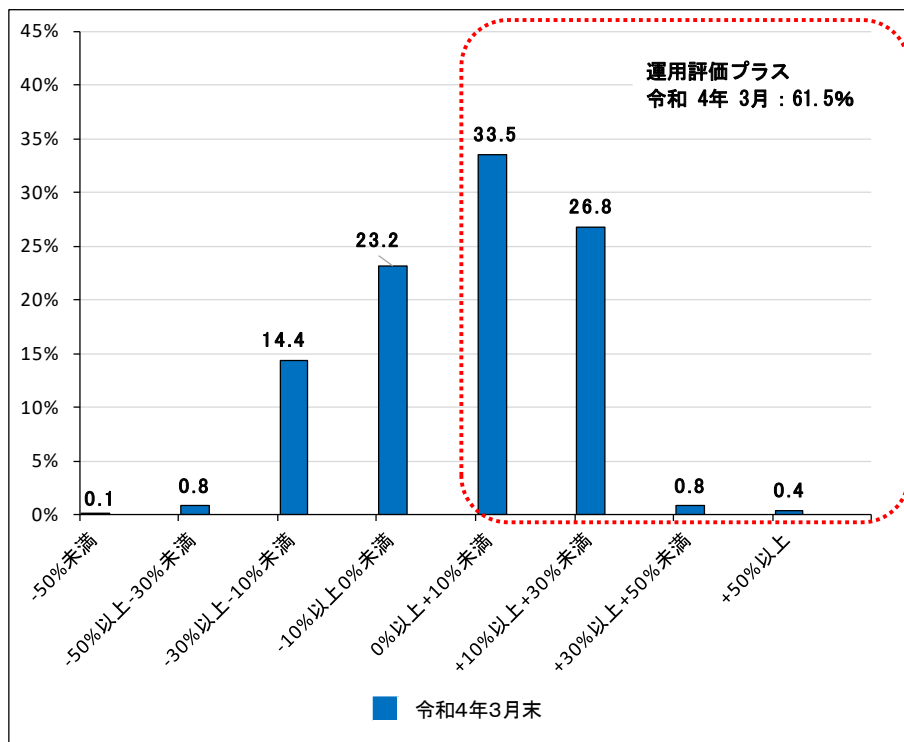
契約後5年以上の外貨建保険の預り残高上位20銘柄について、銘柄毎および預り残高加重平均のコストとリターンの関係を示した指標です。

中長期的に、商品のコストに比べて、どのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを見ることができます。

取組方針 1. お客様の最善の利益の追求

⑤ 外貨建保険の運用評価別顧客比率(共通KPI)

令和4年3月末基準で運用評価がプラスとなったお客様の比率は、61.5%となりました。



注1. 本データは保険会社が保有している当行分契約データから算出しています。

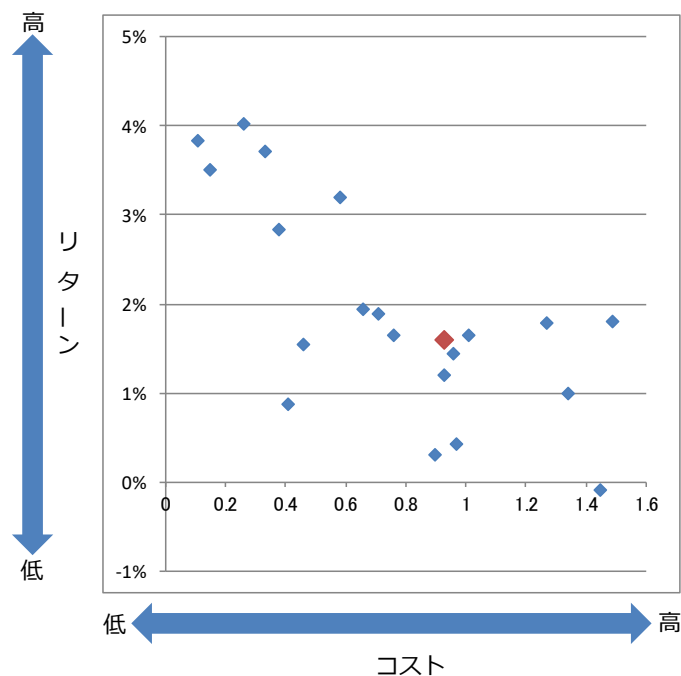
注2. 外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合があります。

注3. 解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。

取組方針 1. お客様の最善の利益の追求

⑥ 外貨建保険の預り残高上位20銘柄のコスト・リターン(共通KPI)

令和4年3月末基準の残高上位20銘柄の平均コストは0.93%に対し、平均リターンは1.59%となりました。



残高加重平均値	コスト	リターン
	0.93	1.59

(参考) 外貨建保険の預り残高上位20銘柄(共通KPI)

(単位: %)

No	商品名	コスト	リターン
1	しあわせ、ずっと	0.93	1.20
2	たのしみ、ずっと	1.27	1.78
3	サニーガーデン	0.76	1.64
4	サニーガーデンEX	0.66	1.94
5	プレミアジャンプ・年金(外貨建)	0.90	0.30
6	アップサイドプラス	0.58	3.20
7	ビーウィズユー(豪ドル建)	0.97	0.43
8	ロングドリームGOLD	1.01	1.64
9	ダブルアカウントグローバル(豪ドル建)	1.34	1.00
10	三大陸	0.46	1.55
11	アテナ	0.26	4.03
12	みらい、そだてる	0.41	0.87
13	ビー ウィズ ユー プラス	1.49	1.80
14	ビーウィズユー(USドル建)	0.96	1.44
15	シリウスデュアル	0.15	3.51
16	プレミアジャンプ2・年金(外貨建)	0.71	1.89
17	ステイウィズユー(USドル建)	0.38	2.83
18	ダブルアカウントグローバル(USドル建)	1.45	-0.09
19	シリウスプラス	0.11	3.84
20	ロングドリーム	0.33	3.72

取組方針 2. 利益相反の適切な管理

取組方針 3. 手数料等の明確化、重要な情報の分かりやすい提供

取組方針 4. お客様にふさわしい金融商品・サービスの提供

⑦ 投資信託、生命保険ラインナップ、投資信託、一時払い保険販売上位10商品

・お客様の多様なニーズにお応えするため、定期的に投資信託や生命保険の新商品を導入するとともに、既存商品の見直しを行い、商品ラインナップの整備に取り組んでおります。

・金融商品のラインナップについては、運用会社の系列に関わらず幅広い商品の中から、想定されるニーズ、商品の分かりやすさ、手数料水準、リスク・リターン等を踏まえて商品選定しています。

なお、商品性が複雑で、中長期的な資産形成に適さない商品は取扱わない方針としており、仕組債は取扱いしていません。

・お客様のニーズに応じた商品をご提案し、様々な投資対象の商品を販売しております。

・お客様への商品提案の際には、図表や指標等分かりやすい資料を用いて、比較可能な複数の商品を提案するなど、商品特性・リスク特性・手数料等について、お客様に十分ご理解いただけるよう、分かりやすい説明に努めております。

取組方針 2. 利益相反の適切な管理

取組方針 3. 手数料等の明確化、重要な情報の分かりやすい提供

取組方針 4. お客さまにふさわしい金融商品・サービスの提供

【投資信託ラインナップ(令和4年3月末現在)】

投資対象	取扱商品数	取扱商品比率
国内債券	3	2.2%
国内株式	23	17.0%
海外債券	27	20.0%
先進国	14	10.3%
ハイイールド	2	1.4%
新興国	11	8.1%
海外株式	41	30.3%
先進国	29	21.4%
新興国	12	8.8%
国内REIT	5	3.7%
海外REIT	11	8.1%
バランス型	21	15.5%
その他	4	2.9%
合 計	135	100.0%

【生命保険ラインナップ(令和4年3月末現在)】

保険種類		取扱商品数	取扱商品比率
一時払い	円建て	2	12.5%
	終身保険	2	12.5%
	外貨建て	14	87.5%
	定額個人年金	4	25.0%
	変額個人年金	2	12.5%
	養老保険	0	0.0%
	終身保険	8	50.0%
合 計		16	100.0%

保険種類		取扱商品数	取扱商品比率
平準払い	定額個人年金	0	0.0%
	終身保険	3	15.0%
	収入保障保険	2	10.0%
	変額保険	2	10.0%
	医療保険	8	40.0%
	介護年金保険	1	5.0%
	就業不能保険	2	10.0%
	がん保険	2	10.0%
合 計		20	100.0%

取組方針 2. 利益相反の適切な管理

取組方針 3. 手数料等の明確化、重要な情報の分かりやすい提供

取組方針 4. お客さまにふさわしい金融商品・サービスの提供

【投資信託販売上位10商品(令和3年度)】

順位	投信会社名	商品名	投資対象
1	レオス・キャピタルワークス	ひふみワールド+	海外株式
2	大和アセットマネジメント	ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型) Bコース(為替ヘッジなし)	海外REIT
3	三井住友トラストアセットマネジメント	脱炭素関連 世界株式戦略ファンド(資産成長型)	海外株式
4	ニッセイアセットマネジメント	ニッセイSDGsグローバルセレクトファンド(資産成長型・為替ヘッジなし)	海外株式
5	明治安田アセットマネジメント	明治安田米国中小型成長株式ファンド	海外株式
6	レオス・キャピタルワークス	ひふみプラス	国内株式
7	ニッセイアセットマネジメント	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)	海外株式
8	レオス・キャピタルワークス	まるごとひふみ50	バランス
9	日興アセットマネジメント	インデックスファンド225	国内株式
10	大和アセットマネジメント	FANG+インデックス・オープン	海外株式

取組方針 2. 利益相反の適切な管理

取組方針 3. 手数料等の明確化、重要な情報の分かりやすい提供

取組方針 4. お客さまにふさわしい金融商品・サービスの提供

【一時払い保険販売上位10商品(令和3年度)】

順位	保険会社名	商品名	通貨	種類
1	メットライフ生命保険	サニーガーデンEX	外貨	定額終身
2	三井住友海上プライマリー生命保険	しあわせ、ずっと2	外貨	定額終身
3	日本生命保険	ロングドリームGOLD3	外貨	定額終身
4	第一フロンティア生命保険	プレミアプレゼント2	外貨	定額終身
5	日本生命保険	デュアルドリーム	外貨	変額年金
6	メットライフ生命保険	ビーウィズユープラス	外貨	定額終身
7	第一フロンティア生命保険	プレミアストーリー3/プレミアストーリー4	外貨	定額終身
8	三井住友海上プライマリー生命保険	やさしさ、つなぐ2	外貨	定額終身
9	日本生命保険	夢のかたちプラス	円貨	定額終身
10	三井住友海上プライマリー生命保険	あしたの、よろこび	外貨	定額年金

取組方針 2. 利益相反の適切な管理

取組方針 3. 手数料等の明確化、重要な情報の分かりやすい提供

取組方針 4. お客さまにふさわしい金融商品・サービスの提供

【(参考)重要情報シートの導入】

令和4年7月19日から、「重要情報シート」(金融事業者編)および投資信託、生命保険の「重要情報シート」(個別商品編)を導入し、より一層お客さまへの重要な情報の分かりやすい提供に努めております。

【重要情報シート(金融事業者編)】

一定の投資性商品の一部・商品仲介に係る
重要情報シート(金融事業者編)

1 当行の基本情報 (当行にお客さまに提供できる金融商品の販売または取扱いをすることを目的として)

社名	株式会社 恒馬銀行
登録番号	恒馬銀行第1号
加入協会	日本証券業協会
当行の概要を記載したウェブサイト	https://www.honuma-bank.co.jp

2 取扱商品 (当行にお客さまに提供できる金融商品の種類は次のとおりです)

円建資産	<input type="checkbox"/>	円建て債券	<input type="checkbox"/>
外貨資産	<input type="checkbox"/>	外貨建て債券	<input type="checkbox"/>
投資信託	<input type="checkbox"/>	特殊な債券(付随債等)	<input checked="" type="checkbox"/>
保険商品(投資性なし)	<input type="checkbox"/>	タップ口座	<input checked="" type="checkbox"/>
保険商品(投資性あり)	<input type="checkbox"/>	ETF、ETN	<input checked="" type="checkbox"/>
国内株式	<input checked="" type="checkbox"/>	REIT	<input checked="" type="checkbox"/>
外資株式	<input checked="" type="checkbox"/>	その他上場商品	<input checked="" type="checkbox"/>

上記以外の商品等 個人向け国債・NISA、つみたてNISA・iDeCo等もご用意しております。

3 商品ラインナップの考え方 (商品構成のコンセプトや留意点は次のとおりです)

- お客さまのライフプランの実現に役立つよう、お客さまの様々なニーズに対応するために必要な商品を取り揃えています。
- お客さまにふさわしい投資商品・サービスを提供する観点から、想定されるニーズ、商品の分かりやすさ、手数料の低さ、リスク・リターン等を踏まえて事前検証を十分行い、定期的に投資保証や生命保険の取扱商品を導入するときは、後援団体の見直しを行い、商品ラインナップの整備に取り組んでいます。
- 投資機会やお客さまのニーズの変化等に適切に対応し、中長期的に資産形成に資する商品ラインナップになるよう努めております。

4 苦情・相談窓口

当行にお客さま相談窓口	0528-184-238 (受付時間: 平日 9:00 - 17:00)
金融取引総合相談室	0878-01708 (11:52:02-17:12) (受付時間: 平日 9:00 - 17:00)
加入者協会共通の相談窓口	0528-64-5655 (受付時間: 平日 9:00 - 17:00)
生命保険相談	03-3289-2448 (受付時間: 平日 9:00 - 17:00)
金融庁金融サービス利用者相談室	0578-06811 (11:52:01-18:11) (受付時間: 平日 9:00 - 17:00)

2022年7月現在
恒馬銀行

【重要情報シート(個別商品編)】

恒馬銀行
重要情報シート(個別商品編)
ひふみワールド+

1 商品の内容 (当行は、恒馬銀行等の委託を受け、お客さまに商品の販売の取扱いを行っています)

1-1 商品の概要

商品名(商品種別)	ひふみワールド+
販売会社	ヒューマン・キャピタル・グループ株式会社
販売期間	2023年7月1日～2024年6月30日

1-2 商品の詳細

本商品は、恒馬銀行(以下「当行」)が、恒馬銀行(以下「当行」)の委託を受け、お客さまに商品の販売の取扱いを行っています。本商品は、恒馬銀行(以下「当行」)の委託を受け、お客さまに商品の販売の取扱いを行っています。本商品は、恒馬銀行(以下「当行」)の委託を受け、お客さまに商品の販売の取扱いを行っています。

2 リスクと運用実態 (本商品は、対象とする商品のリスクを、掲載の通りと見做しております)

2-1 リスク

本商品は、対象とする商品のリスクを、掲載の通りと見做しております。本商品は、対象とする商品のリスクを、掲載の通りと見做しております。本商品は、対象とする商品のリスクを、掲載の通りと見做しております。

2-2 運用実態

本商品は、対象とする商品の運用実態を、掲載の通りと見做しております。本商品は、対象とする商品の運用実態を、掲載の通りと見做しております。本商品は、対象とする商品の運用実態を、掲載の通りと見做しております。

3 費用 (本商品の購入又は保有には、費用がかかります)

本商品は、対象とする商品の費用を、掲載の通りと見做しております。本商品は、対象とする商品の費用を、掲載の通りと見做しております。本商品は、対象とする商品の費用を、掲載の通りと見做しております。

4 投資・契約の条件 (本商品を購入、契約する場合は、一定の条件を満たす必要があります)

- 本商品の購入には、一定の条件を満たす必要があります。
- 本商品の購入には、一定の条件を満たす必要があります。
- 本商品の購入には、一定の条件を満たす必要があります。

5 当行の利益とお客さまの利益が反する可能性

- 当行の利益とお客さまの利益が反する可能性があります。
- 当行の利益とお客さまの利益が反する可能性があります。
- 当行の利益とお客さまの利益が反する可能性があります。

6 総括の概要

- 本商品の概要を、掲載の通りと見做しております。
- 本商品の概要を、掲載の通りと見做しております。
- 本商品の概要を、掲載の通りと見做しております。

7 その他参考情報 (契約にあたっては、必ずご確認ください)

本商品の概要を、掲載の通りと見做しております。本商品の概要を、掲載の通りと見做しております。本商品の概要を、掲載の通りと見做しております。

取組方針 2. 利益相反の適切な管理

取組方針 3. 手数料等の明確化、重要な情報の分かりやすい提供

取組方針 4. お客さまにふさわしい金融商品・サービスの提供

⑧ アフターフォローの実施状況

商品販売後も、安心して取引していただけるよう、お客さまのご年齢や運用状況、市場環境の変化に応じて、適時・的確に情報提供を行い、お客さまの投資判断のサポートに努めております。

特に、ご高齢のお客さまや評価損を抱えているお客さまに対しては、よりきめ細やかな情報提供を行うよう努めており、リスク性商品（投資信託、生命保険、外国債券）を保有していただいているお客さまに対し、一定の条件のもとに実施しているアフターフォローの実施率は90%以上となっています。

【アフターフォローの実施状況】

(単位:%)

	対象先	実施率
令和元年度	・投資信託、生命保険、外国債券の販売先(75歳以上の高齢者) ・投資信託、外国債券の販売先(損失発生先)	99.38
令和2年度	・投資信託、生命保険、外国債券の販売先(75歳以上の高齢者) ・投資信託、外国債券の販売先(損失発生先)	99.07
令和3年度	・投資信託、生命保険、外国債券の販売先(75歳以上の高齢者) ・投資信託の販売先(ロシア関連ファンド保有先)	99.24

※リスク性商品（投資信託、生命保険、外国債券）を保有していただいているお客さまに対し、高齢者や損失発生先など、一定の条件のもと半年に1回の周期でアフターフォローを実施しています。

※相場急変時には定期的なアフターフォローに加え臨時でアフターフォローを実施しています。

取組方針 2. 利益相反の適切な管理

取組方針 3. 手数料等の明確化、重要な情報の分かりやすい提供

取組方針 4. お客さまにふさわしい金融商品・サービスの提供

⑨ お客さま向けセミナーの実施状況

- ・お客さまに資産運用や相続・介護等に関する知識や理解を深めていただけるよう各種セミナーを開催しています。
- ・投資未経験の方などに向け、投資信託自動積立を活用した長期資産形成の考え方を伝えるセミナーを開催しました。
- ・遺言や相続手続きといった難しいテーマについて、事例紹介を含めて専門家から分かりやすく説明してもらうセミナーを実施しました。
- ・住宅ローンをご利用の方に対しては、住宅ローン控除の確定申告やライフプランに合わせた家計の見直しについてセミナーを開催しました。

【お客さま向けセミナーの実施状況】

テーマ	開催内容
長生き時代の上手な生き方	・豊かな人生100年時代を迎えるための準備 ・介護を見据えたお金との向き合い方
元気なうちに準備したい相続対策	・家族、お金のこと高まる相続への関心 ・令和の最新相続対策について
終活と相続と遺品整理の秘訣	・遺言、相続手続きの賢い進め方 ・遺品整理の専門家による生前の準備の大切さ
投資信託自動積立による資産形成	・投資、資産形成の基本的な考え方
家計見直しセミナー	・将来のライフイベントと必要なお金 ・賢い家計見直しのポイント

取組方針 5. 従業員に対する適切な動機づけの枠組み等

⑩ 教育・研修の実施状況

- ・お客様の資産形成やライフプランに応じたお客様にふさわしい金融商品・サービスを提案できるよう、商品知識の習得や、コンサルティング提案スキルの向上、コンプライアンスの遵守等を目的とした研修を定期的を実施し、職員に対する教育・研修体制の充実に努めております。
- ・お客様の安定的な資産形成に資するため、様々な公的資格取得を奨励するなど、コンサルティング能力を有する専門性の高い人材の育成に努めております。
- ・お客様のニーズ・利益を踏まえたお客様本位の営業活動が行えるよう、特定の運用商品の販売に偏らない評価体系を導入するとともに、お客様の安定的な資産形成に資する営業活動を適切に評価するため、投資信託自動積立や平準払保険など預り資産残高の継続的な積み上げにかかる項目を業績評価体系に組み入れるなど、業績評価体系の整備に努めております。

【教育・研修の実施状況(令和3年度)】

(単位:回、人)

実施内容	実施回数	受講者数
商品知識の習得を目的とした研修	21	1,900
コンサルティング提案スキルの向上を目的とした研修	41	1,566
F Dの実践、コンプライアンスの遵守を目的とした研修	4	1,456